

令和2年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

令和2年度は、厳しい予算状況の中、公益財団法人としての役割を積極的に果たしていくため、関係団体との連携を図りながら、県民の保健及び医療の向上と福祉の増進を目的とした健康づくり運動普及啓発事業、臓器移植普及推進事業、ファミリーハウス事業、勤労者福祉事業の4つの事業を柱に各事業を推進した。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、当事業団においてもイベントの中止や一部変更等、計画通りに遂行できない事業があった。

健康づくり運動普及啓発事業では、沖縄県が策定した「健康おきなわ 21（第2次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、「2040年に男女とも平均寿命日本一」を実現するため、栄養・運動・休養（メンタルヘルス）のバランスの取れた健康的な生活習慣を確立するための情報を、健康情報誌やセミナー、SNS、オンライン配信等を通じて提供した。特に令和2年度においては、新しい生活様式に関連する健康づくり情報なども取り入れた。

臓器移植普及推進事業では、臓器移植コーディネーターを2名配置し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策には細心の注意を払いながら、あっせん業務をはじめ、臓器移植推進の普及啓発事業を継続して実施した。医療機関における医療体制整備では、県内の医療機関関係者（院内コーディネーター）との連携をより充実させることを目的にした定期研修会等をオンラインで実施した。県民啓発においては、ラジオCMやバス車内CMのほか、有名アーティストによるプロモーションビデオやポスターの制作を行った。また、臓器移植に関する県民意識調査も行った。

ファミリーハウス事業では、離島地域など自宅から遠く離れ、本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。令和2年度は、施設の運営をより充実させるためスタッフを一人増やした。新型コロナウイルス感染拡大に伴う施設利用制限などの理由により、施設の年間延べ利用者数は2,533人、稼働率は50.5%といずれも対前年度実績を下回る結果となったが、施設内における新型コロナウイルス感染予防について万全な対策を講じ、宿泊利用者の安全確保に努めた。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、求職者の就労を支援することで労働者福祉の向上を図った。

令和2年度事業の概要は以下のとおりである。

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

- ア 健康づくりイベントの開催
- イ 健康づくり情報の提供
- ウ スマートライフサポート事業
- エ 勤労者健康推進事業
- オ 助成事業

(2) 臓器移植普及推進事業

- ア 臓器移植コーディネーター受託事業
- イ 医療機関の移植医療体制整備事業
- ウ 県民への普及啓発事業
- エ 助成事業
- オ 賛助会員の募集

- (3) ファミリーハウス事業
- (4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）
- (5) 現有資産の活用
- (6) 特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施状況
- (7) 資金運用

2 事業実績

(1) 健康づくり運動普及啓発事業

ア 健康づくりイベントの開催

(ア)「健康づくりライブトーク」オンライン特別版の開催

県民の健康意識の向上を図り、生活習慣の改善や健康づくりの普及を目的にオンライン配信により開催した。視聴者数 646 人（延べ）

- ・ 日 時：令和 3 年 1 月 31 日（日）13：30～15：00
令和 3 年 2 月 14 日（日）13：30～15：00
- ・ 開催方法：Zoom 配信
- ・ 内 容：【第一部】講演
講師 岡部 友（株式会社ヴィーナスジャパン代表取締役社長）
演題 「自宅でできるトレーニングと食事法で免疫力UP」
【第二部】トレーニング実演指導（50 分）
講師 岡部 友

(イ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

地域に根差した健康づくりの視点から、減塩・郷土料理の伝承・バランスメニュー等をテーマに体験型食育（調理実習）を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、名護市ほか 10 市町村で計 20 回実施した。

- ・ 期 間：令和 2 年 11 月～令和 3 年 2 月（参加者数：計 319 人）

b 県民食育講演会（オンライン沖縄特別版）の実施

子どもを取り巻く環境の多様化から、子どものライフスタイルに添ったテーマで講演会を実施し、学生、保護者、指導者等向けに食育に対する関心を高めてもらうとともに、よりよい食習慣の構築に必要な情報の提供を行うことを目的に開催した。

- ・ 日 時：令和 3 年 1 月 21 日（木）～2 月 21 日（日）32 日間
- ・ 開催方法：YouTube 配信
- ・ 視聴数：第 1 部 743 回、第 2 部 495 回 合計 1,238 回
- ・ 講 師：こばたてるみ（管理栄養士、公認スポーツ栄養士）
- ・ 内 容：【講演＜第 1 部＞】
演題：「部活生必見！勝てるカラダをつくるスポーツ栄養」（56 分）
【講演＜第 2 部＞】
演題：「受験生必見！学力アップの食事術」（56 分）

c 沖縄県栄養士会連携事業 ※

①食育リーダースキルアップ支援事業

地域における食育活動の推進を目的に、県内の食育活動に従事する方を対象として、食育リーダーとしての専門的技術を習得する研修会を同内容で 2 回開催した。

日時/場所：令和3年1月9日（土）
 沖縄ガス(株)ショールームゆ〜くる（那覇市）9名
令和3年1月10日（日）
 健康福祉センターうるみん（うるま市）19名
内 容：【講義】「生活習慣病と食生活について」
 講師：笠原寛子（管理栄養士）
 【調理実習】「塩分2グラム未満の減塩食」
 講師：長嶺由香（管理栄養士）

②食育SATシステム活用事業

健康・栄養に関する教室、イベント等で活用し、県民の健康づくりに寄与することを目的に、実物大フードモデルを使用した「体験型」栄養教育システム（SATシステム）の備品使用貸借契約を（公社）沖縄県栄養士会と締結した。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により、活用実績はなし。

イ 健康づくり情報の提供

（ア）メディアミックス型情報発信事業

健康情報誌「kenko ISLAND」を年3回（8月、12月、3月）で各号25,000部発行し、県内公的機関、医療機関、金融関係、事業所へ配布した。また、県内コンビニ（ファミリーマート、セブンイレブン、ローソン）、タウンプラザかねひで、モノレール各駅及び、事業団主催イベント等での配布を行った。また、配布場所にマークをつけた地図をWEB上に掲載し、より多くの人に届けることで幅広い世代の読者層の獲得を図った。各号でプレゼント応募の際に、アンケートを実施しているが、その結果（12月号/総数566件）によると、本誌を手にとった場所として、コンビニ・スーパーで、約52%となっており、以下、職場14%、モノレール駅9%と続く。また、男女別の割合では、男性23.9%、女性76.1%となり、年代別では1位が40代（33%）以下、30代（29%）、50代（16%）、20代（15%）と続いている。

情報誌の発行に加え、専用ウェブサイト（www.islandweb.okinawa）及び各種SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム）、動画配信サイト（ユーチューブ）等の複数メディアを組み合わせることで、若年層を中心とする働き盛り世代に向けた効率的な健康づくり情報の発信に努めた。SNSにおいては、キャンペーン等の実施によりフォロワー数を増やし、より多くの方に情報発信することができた。（令和3年3月現在フォロワー数：Facebook 140、Twitter 953、Instagram 320）

令和2年度の「kenko ISLAND」各号の特集テーマは以下のとおりである。

- ① Vol.56（8月号） 夏バテ・熱中症予防と対策
- ② Vol.57（12月号） 隠れ栄養失調
- ③ Vol.58（3月号） 眼精疲労

（イ）健康情報発信（ホームページ）

事業団ホームページにおいて、イベント案内や企画コンペ、助成金の公募情報掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

（ウ）マスメディアの活用

a 新 聞

開催された健康づくり講演会等の内容を多くの県民へ提供するため、新聞紙面（1 ページ）を活用した広報展開を行った。

- ・「健康づくりライブトークオンライン特別版」

掲載日：令和 3 年 2 月 1 日（月） 掲載媒体：琉球新報

- ・「県民食育講演会オンライン沖縄特別版」

掲載日：令和 3 年 1 月 30 日（土）掲載媒体：沖縄タイムス

ウ スマートライフサポート事業

（ア）保険者との連携

a スマートライフセミナー（受託事業）

沖縄県市町村職員共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・運動の実践型セミナーを開催した。

- ・令和 2 年 10 月 7 日（水）10：00～15：30 参加者数：24 人

会 場：コスタビスタ沖縄ホテル&スパ 1F EM ギャラリー

- ・令和 2 年 10 月 9 日（金）10：00～15：30 参加者数：25 人

会 場：ロワジールホテル那覇 3F 龍宮の間

【セミナー内容】

保健編：「COVID-19 との共生時代を生きる：生活習慣病対策の重要性」

（医師 崎間敦）

運動編：「自宅やオフィスでできる簡単フィットネス」

（健康運動指導士 宮城あいき）

また、測定コーナーを設置し、現在の健康状態を把握し、今後の行動変容に繋げるきっかけづくりとして体組成計を用いた測定を行った。

なお、予定していた地方職員共済組合沖縄県支部、公立学校共済組合沖縄支部については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

（イ）地域、職域における指導

県内事業者等からの依頼により、健康づくり実践講座の講師として健康運動指導士の派遣を行った。

- ・令和 2 年 11 月 6 日（金）19：00～20：00

内 容：1 週間のフィットネスプログラムとして実技講座を実施した。

対象者：石嶺中学校 P T A 文化教養部

場 所：那覇市立石嶺中学校 ピロティホール

エ 勤労者健康推進事業 ※

（ア）健康経営普及啓発プロモーション事業

a 職場の健康力アップ促進事業（沖縄県との共同事業）

県内企業に対し健康経営の普及推進を目的に、企業の健康づくりを企画、立案から実施までワンストップで支援していく事業を実施するため、企画提案コンペによって選定された（一社）トータルウェルネスプロジェクトオキナワに運営を委託した。当事業では、各企業が抱える職場の健康問題を改善するための取組みを支援し、活用した企業は 28 社（従業員 5,824 人）であった。企業からの要望により多く実施された支援メニューは、①健康経営ウェルネスセミナー ②ランチタイムセミナー ③オフィスフィットネスとなっている。その他には、経済団体・関係団体への情報伝達、各種メディアからの情報発信、健康づくりに関する各種制度の周知や利用促進等の普及啓発を行った。

実施期間：令和2年7月1日～令和3年3月31日
 委託額：10,780,000円（うち当事業団負担額3,988,600円）

オ 助成事業

（ア）市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額30万円）の助成を行った。

令和2年度は、6市町村への助成を決定したが、3市町村については、新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止等のため、申請取り下げとなり、沖縄市ほか2件への助成を行った。助成総額：886,840円

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	沖縄市	沖縄市健康づくり教室	R2.10.4～ R2.12.22	市民が自ら生活習慣病の予防及び健康増進を図ることを目的に、健康づくり教室を働き盛り世代が参加しやすい平日夜間と日曜午前に開催した。内容は、運動や栄養に関する講話、ヨガ・エクササイズ体験、自宅で取り組む筋力トレーニング等週ごとにメニューを変えて、各コース12回実施した。 参加者数/平日夜間コース18人（ペアーレ沖縄タピック） 日曜午前コース9名（津嘉山の杜ヒルトップカシータ、東南植物楽園）
2	北中城村	キタナカ Kitchen LABO プロジェクト	R2.10.28～ R3.2.10	健康長寿をキーワードとしたオリジナル健康フード及びメニューを創出し、村民への食における健康意識の向上を目的とし、ホテル料理長、飲食店業者等を講師にむかえ、村内の飲食・宿泊事業者を対象として全5回の活動を実施した。 参加者数/計92人 会場/北中城村立中央公民館調理場 オンライン配信/石窯パン処ときはや、北中城村観光協会
3	与那原町	第13回 よなばる てくてくウォーク2021	R3.2.14 (中止)	町民の健康・体力づくりの推進とスポーツ意識の高揚を図る目的で、コロナ時代に対応したウォーキング大会の実施に向けて計画していたが、県の緊急事態宣言の期間延長に伴い事業中止となった。 参加申込者数/415人 会場/与那古浜公園（与那原町）
※	宜野湾市	宜野湾市はごろもウォーキング大会	申請取下げ	多くの市民が参加することで、健康への認識を高め、運動を行う機会の充実を図ることを目的に開催する。
※	宜野座村	令和2年度いきいき健康フェスティバル 第38回宜野座村健康ウォーク	申請取下げ	村民の健康保持・増進、社会参加等を図り、ふれあいと活力のある健康長寿村の形成に寄与することを目的に開催する。
※	北谷町教育委員会	令和2年度第36回北谷町民トリムマラソン	申請取下げ	誰でも気軽に楽しみながら参加できるトリムマラソンを通して、親子のふれあい地域の人々の交流促進を図ることを目的として開催する。

（イ）健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成（限度額30万円）を行った。

令和2年度は、7団体への助成を決定したが、1団体については、新型コロナウイルス感染症の影響による大会中止のため、申請取り下げとなり日本健康運動指導士会沖縄県支部ほか5団体への助成を行った。助成総額：1,573,146円

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	日本健康運動指導士会沖縄県支部	県民へ健康運動啓発のためのパンフレット作成事業	R2. 8～ R3. 1	屋内にて単独でできる健康運動を提案し、運動習慣を日常化する機会を獲得することを目的にパンフレットを作成し、各種団体やイベント等で配布していく。行動制限のある高齢者を対象に各種予防運動や、県内中高年の心肺機能保持・向上のヒントを紹介する内容となっている。 作成部数/ 6,000 部
2	(公社) 沖縄県栄養士会	県民の健康増進のための食生活充実に向けた啓発	R2. 7～ R3. 1	若い世代から適切な食生活を身につけること、生活習慣病を発症している方には、重症化しない食生活の提案を目的にパンフレットを制作し、各市町村社会福祉協議会等へ配布したほか、イベントや地域ケア会議等で活用していく。 作成部数/ 800 部
3	(公社) 沖縄県看護協会	禁煙支援者研修会	R2. 12. 19	たばこ対策や禁煙支援の専門家から、禁煙に関する知識やスキルを学び、県民の喫煙率を低下させる目的で開催した。看護職、禁煙対策担当者、禁煙支援に関心のある方を対象に、禁煙に関する最新情報を紹介する講演を行った。 参加者数/ 35 人 会場/沖縄県看護研修センター
4	沖縄県ウォーキング協会	ウォーキング啓発小冊子制作作業	R2. 12. 25～ R3. 1. 29	県民を対象にウォーキング意識の向上、ウォーキング人口の拡大を目的に、「健康で楽しく生きるためのウォーキング～知らないとな人生は損になる 2 足歩行の機能」というタイトルの小冊子の制作し、県内ウォーキング団体・主要市町村、民間企業、マスコミ関係等へ配布した。 作成部数/ 500 部
5	ハートフル卓球同好会	卓球講習会	R2. 10. 1～ R3. 2. 10	元全日本チャンピオンの花木選手を講師として招き、県民の心と体の健康を維持することを目的に講習会を開催した。南城市で 4 回、那覇市で 8 回、浦添市で 4 回、糸満市で 2 回実施し、参加者数は、のべ約 360 人であった。 会場/花木卓球クラブ、沖縄県体協スポーツ会館、浦添体育館、糸満西崎体育館
6	津波古自治区	津波古の新プロジェクト！はじめてのオンライン健康講座	R3. 1～ R3. 2	オンライン学習ツールを用いて「貯歩っとレース」やオンライン健康講座、住民参加型の健康づくりのプラットフォーム構築を図ることを目的とし実施した。動作法及び健康科学の内容のプログラムで、オンライン健康講座を 11 回開催した。 講座参加者数/ 24 名
※	社会福祉法人南島会	グランドゴルフ	申請取下げ	グランドゴルフを通じて、多くの人々と触れ合うことで、心身ともに健康で楽しい生活を送ることを目的に開催する。

(ウ) 健康課題解決型支援事業（助成事業）※

市町村及び民間企業等が連携した自主的な取り組みを促進するため、公募により選定した県民の健康課題の解決を図るプロジェクトに対し、将来的な自走化を見据えた助成支援をおこなった。令和 2 年度は 3 件の応募のうち、2 件のプロジェクトに対し、助成を行った。

①助成事業者：OTS MICE MANAGEMENT 株式会社（連携先：豊見城市）

事業名：「おきなわ新健康体操」創作物業

事業内容：「健康長寿・沖縄」のイメージを回復するため沖縄が世界に誇る伝統文化・芸能と健康体操を融合させた沖縄県民がより身近に感じられ幅広い層に受け入れられる健康体操を創作、普及させることで、心身双方の健康保持増進に繋がることを目的とし、以下の内容を実施した。

- a. 沖縄が世界に誇る『空手』、そして沖縄の伝統芸能である『琉球舞踊』『エイサー』それぞれの動きをベースにした「新健康体操」の創作物務

- b. おきなわ新健康体操の有効性の検証を行うための「おきなわ新健康体操」のモニタリング調査を、一般企業・保育園・学習塾等（10件）で行った。その際、活動量計（スマートウォッチ）によるデータ（消費カロリー、歩数、距離、睡眠時間）を記録
- c. 創作した「新健康体操」の普及・啓発を図るための体験教室開催や広報ツールの制作（パンフレット作成・インターネットでの配信）

助成金額：9,353,435 円

②助成事業者：スポーツデータバンク沖縄株式会社
（連携先：うるま市教育委員会）

事業名：うるま市小学校における健康力・スポーツ向上促進事業

事業内容：子どもたちの「健康力」「スポーツ力」に対する課題解決を行う仕組み（サービス）を展開することで、子どもたちの「体力減少」「運動嫌い」の改善、将来を見据えたスポーツ実施率の向上促進を目指す。また、保護者へのアプローチを行うことで、大人の健康意識改善やスポーツ実施率の向上を目指すことを目的とし、以下の内容を実施した。

- a. 小学生を対象にした専門指導者による、正しく・楽しくできる運動・スポーツ教室（かけっこ・走り方教室、キッズヨガ、運動教室、器械体操教室、サッカー教室）を定期的に開催
- b. 小学生の運動指導に従事する教員・指導者、保護者等を対象としたセミナー・研修会（生活習慣、栄養講座、運動の二極化）等の開催

助成金額：9,839,739 円

（エ）健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業 ※

市町村の健康づくりを担う人材の確保・育成を図るとともに、その活動を活発化させることで、県民の健康づくりを推進する環境を整えることを目的に、市町村を対象に助成応募者を募り、那覇市ほか 10 市町村へ事業費の助成を行った。助成金額については、事業費の 10 分の 5 とし、限度額については次のとおりとした。

限度額：人口 4 万人以上・・・40 万円、人口 4 万人未満・・・30 万円

助成総額：1,690,956 円

	市町村名	事 業 内 容				主な事業内容
		①健康づくり推進員		②食生活改善推進員		
		養成	活動支援	養成	活動支援	
1	那覇市			○	○	②新規養成（7 名）、補助金交付
2	宜野湾市	○	○		○	①新規養成（1 名）、健康体操普及運動での活用 ②各種健康教室での活用、補助金交付
3	浦添市			○		②新規養成（48 人）
4	沖縄市				○	②研修会の実施、補助金の交付
5	豊見城市			○	○	②新規養成（5 名）、研修会の実施

6	読谷村		○ ※健康づくりサポ ーター		○	①健診受診勧奨での活用 ②補助金交付
7	嘉手納町		○ ※健康を守る会		○	①補助金交付 ②補助金交付
8	中城村		○ ※健康生活推進員			①研修会の実施、各種健康教室で の活用
9	西原町		○		○	①活動保険・活動通知 ②研修会での実施、イベント等で の活用
10	与那国町			○	○	②研修会旅費、食育教室の実施
11	うるま市			○		②新規養成（17人）
※	伊江村	—	—	—	—	申請取り下げ

カ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業等

- (ア) 「県民健康フェア」の開催（9月）
- (イ) 「若年層の健康教室」の開催（2月）
- (ウ) 栄養士会連携事業 ※
・高校生向け食育講演会（2月）

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、P5～6の市町村健康づくり運動実践活動助成、健康づくり運動実践活動団体助成については、募集期間を延長し3次募集まで行った。令和2年度より開始したP7～8の健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業については、2次募集まで行った。

（2）臓器移植普及推進事業

（臓器移植の現況）

死後の臓器提供には、心臓が停止した後に行う心停止後臓器提供と法的に脳死とされた後に行う脳死下臓器提供がある。平成22年に臓器の移植に関する法律が改正されて10年以上が経過しているが、臓器提供者数は思ったような増加はなく、課題解決には至っていない。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全国的には提供数・移植数は大幅に落ち込む結果となった。

沖縄県では献腎移植（亡くなった方からの腎臓移植）が可能であるが、本県における透析患者数は、人口100万あたりの患者数で全国上位に位置し、令和2年12月末では238の方が献腎移植希望の登録を行っている。昭和62年度に初めて献腎移植が行われてから心停止下臓器提供のみが続いていたが、平成26年度に県立中部病院で県内初の脳死下臓器提供があり、平成29年度以降は脳死下臓器提供のみが継続している。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もありドナー情報数は大幅に減少したが、脳死下臓器提供4例、献腎移植8例が行われた。これまでの累計は臓器提供83例、献腎移植154例となっている。

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、臓器移植コーディネーターを2人配置し、移植に関わる医療機関の医師および院内コーディネーターとの情報交換や移植医療の普及啓発の強化を図った。

- (ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

令和 2 年度の本県におけるドナー情報数は 12 件（令和元年度 29 件）であった。提供については、4 人の方が脳死下で臓器提供をされた。移植については、県外の方からの提供を含め、8 人の患者へ腎臓移植が行われた。

数字：県内実績件数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
情報数	0	1	3	0	1	1	2	1	0	2	1	0	12
提供数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	4
献腎移植数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	※3	※1	8

※県外ドナーからの提供による移植を含む

（イ） 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器移植医療に対応できる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会を開催した。また、オンライン出席もできるよう環境整備を行った。

○第 1 回

開催日時：令和 2 年 7 月 28 日（火）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

○第 2 回

開催日時：令和 2 年 10 月 27 日（火）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

○第 3 回

開催日時：令和 3 年 3 月 22 日（月）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5 階会議室

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

（ア）病院啓発

県内医療機関を延べ 120 回以上巡回し、勉強会や移植関連情報の提供を行い院内体制の充実に努めた。また、行政や警察などの関係機関を延べ 20 回以上訪問し連携強化を図った。

（イ）沖縄県移植情報担当者会議（共同開催：鹿児島県移植医療推進連絡会）

開催日時：令和 3 年 3 月 2 日（火）18:00～19:50

開催場所：Zoom 配信（レンタル会議室プロム）

参加者：40 人（13 施設）

内 容：▼「最近の移植医療の現状」

茂木直哉（日本臓器移植ネットワーク）

▼「院内コーディネーター活動報告」

児玉和代（鹿児島市立病院）

▼「Covid-19 蔓延下における臓器提供 我々の経験から」

豊見山直樹（那覇市立病院）

▼質疑応答

（ウ）臓器提供に関する意思を尊重するための医療者向けガイドブックの作成

九州沖縄 8 県合同で臓器提供の選択肢提示（情報提供）を行う院内体制を整備するために経験豊富な医師等の体験談や手法をまとめた冊子を作成し、沖縄県移植情報担当者設置施設（16 施設）および関係機関へ配布した。

※上記(ア)、(イ)、(ウ)の事業については、日本臓器移植ネットワークの2020年度都道府県支援事業費助成金を活用し実施した。

ウ 県民への普及啓発事業

(ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。

○市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。

○臓器提供意思表示の促進のため、臓器移植普及推進月間である10月を中心に新聞紙面の一面などへ呼びかけ広告を掲載した。

琉球新報・・・21回 沖縄タイムス・・・21回

○臓器提供意思表示啓発ラジオCM

素 材：3編（YES編、NO編、テーマソング編）

放送期間：令和2年9月～令和2年11月

放 送 局：FM沖縄（141本）、ラジオ沖縄（95本）、RBCiラジオ（95本）

放送本数：計331本

○バス車内CM放送

臓器提供の意思表示を呼び掛けるCMを県内の主要路線を走る10路線のバスの車内で放送した。

（放送期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日）

・23/223 具志川線(琉球バス)屋富祖	3,100回
・90 知花線(琉球バス)おもろまち駅前	2,000回
・98 琉大線(琉球バス)県庁北口	1,800回
・89 糸満線(琉球・沖縄)小禄駅前	4,000回
・2 識名開南線(那覇バス)真和志高校前	3,100回
・37 新開線 38 志喜屋線 338 斎場御嶽線(東陽バス)国場	2,400回
・30 泡瀬東線(東陽バス)	1,700回
・62 中部線(琉球バス)園田	1,500回
・27/227/80/777 屋慶名線(沖縄バス)吉原入り口	1,560回
・28/29/228 読谷線(琉球・沖縄)安謝	3,500回

(イ) 沖縄グリーンリボンアート展の開催

県立図書館や県立病院において、作品展を開催し移植医療について県民の関心を高めることを目的に行った。

○県立図書館：令和2年9月30日（水）～10月25日（月）

○県立中部病院：令和2年11月6日（金）～令和2年11月27日（金）

(ウ) Instagram キャンペーンの実施

グリーンリボン沖縄 Instagram オフィシャルアカウントを開設し、グリーンリボン認知度向上のためのアート（写真・絵画）・塗り絵の募集を行い、28都道府県よりアート39点（県内3）・塗り絵97点（県内13）の応募を頂いた。

募集期間：令和2年7月20日（月）～8月31日（月）

(エ) 臓器移植に関する意識調査 ※

臓器移植に関する県民の意識を把握し普及啓発事業の参考とすることを目的に実施した。調査結果として、臓器移植についての関心度や認知度は全国比（平

成 29 年度内閣府調査) で差異は無かったが、意思表示率については、より高い (27.1%) ことが分かった。結果については事業団ホームページに掲載。

対 象：県内在住の 15 歳から 70 歳までの男女 300 人 (離島含む県全域)

時 期：令和 2 年 5 月 25 日から 5 月 27 日

方 法：インターネット調査および新聞読者調査

(オ) グリーンリボンプロモーション事業 ※

著名アーティストがプロデュースした音源を活用した臓器移植普及啓発のためのプロモーション映像およびポスターを制作した。

エ 助成事業

(ア) 組織適合性検査の助成

献腎移植登録可能施設 (沖縄県立中部病院・豊見城中央病院) で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者 23 人に対して、一人 2 万円の助成を行った。

(イ) 臓器移植普及啓発活動団体助成事業

広く県民に臓器移植が正しく理解されることを目的に、県内において臓器移植の普及啓発活動を実施している保健・医療・福祉団体等に対し 10 万円を上限に助成を行った。

○沖縄県腎臓病協議会

○沖縄県アイバンク協会

オ 賛助会員の募集

賛助会員 (1 口 : 3 万円) 加入の協力を、県内の医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、22 団体から 22 口、66 万円の会費収入があった。

カ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止になった事業

(ア) 臓器提供に関する調査

(イ) 沖縄県移植情報担当者会議 (6 月、10 月)

(ウ) 臓器提供の現場を知るセミナー

(エ) 移植医療セミナー (T P M) への派遣 ※

(オ) 研修等派遣事業 ※

(カ) 臓器移植普及推進月間 (10 月) 行事

a 街頭キャンペーン

b 臓器移植を知るシンポジウム 2020

(キ) 出張講座の開催

(ク) イベントの活用

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・子ども医療センター」等に入院又は受診する難病等の子どもや付添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営を認定 NPO 法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。また、ファミリーハウス事業について広く県民に周知するため、健康づくり運動普及啓発事業において発行している健康情報誌「kenko ISLAND」の誌面にて紹介記事 (ファミリーハウス利用者の声、ハウスタッフの 1 日等) を掲載した。

ア 令和2年度の稼働率及び利用者数等の実績

ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況
令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで

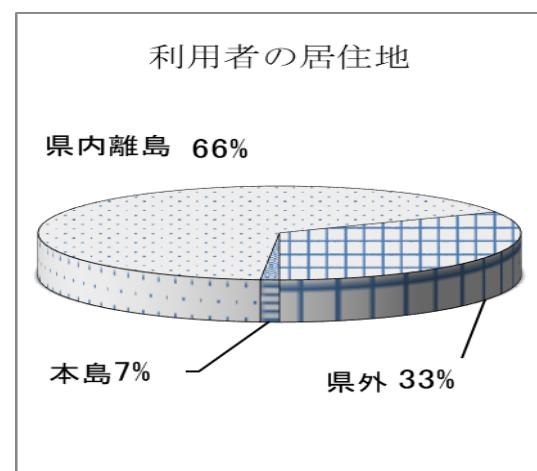
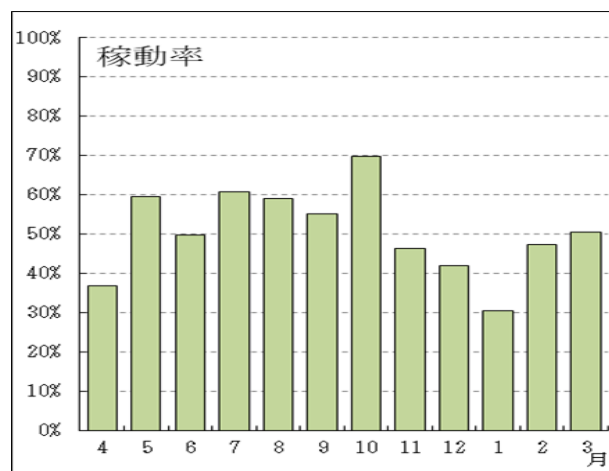
月	営業 日数	利用室数	稼働率	利 用 者 数 (人)				
				沖 縄 県 内			県 外	合 計
				本 島	離 島	内 計		
4	30	110	36.7%	0	49	49	98	147
5	31	184	59.4%	0	133	133	88	221
6	30	149	49.7%	5	160	165	101	266
7	31	188	60.6%	0	165	165	74	239
8	31	183	59.0%	4	207	211	22	233
9	30	165	55.0%	0	126	126	74	200
10	31	216	69.7%	12	201	213	73	286
11	30	139	46.3%	1	201	202	5	207
12	31	130	41.9%	8	189	197	6	203
1	31	94	30.3%	0	129	129	14	143
2	28	132	47.1%	2	73	75	91	166
3	31	156	50.3%	0	48	48	174	222
計	365	1,846	50.5%	32	1,681	1,713	820	2,533

※ 年度別稼働率

・ H20 … 56.7 %	→ 6月 開所	・ H24 … 71.9 %	・ H28 … 67.6 %
・ H21 … 57.0 %	→ 途中から	・ H25 … 71.6 %	・ H29 … 66.9 %
・ H22 … 77.7 %	成人受入	・ H26 … 58.5 %	・ H30 … 65.3 %
・ H23 … 70.1 %		・ H27 … 64.4 %	・ R1 … 63.2 %

住居地別利用者数(延べ人数)

沖 縄 県	1,713						
鹿児島県	150	大阪府	137	北海道	113	青森県	90
兵庫県	88	三重県	87	高知県	78	石川県	77
計							2,533



イ 利便性向上事業 ※

(ア) 建築設備改修整備事業

優先度に応じ設備取り換えを予定していたが、クーラーの故障等については修繕費で対応したため、当事業は実施しなかった。

ウ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業等

(ア) 利便性向上事業の施設紹介動画制作事業 ※

(イ) ファミリーハウス運営協議会の開催（２月）

(４) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

１ 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）

２ 労福協への助成事業

(ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a 就労訓練事業

- ・ 1Day PC Café 及び 1Day PC セミナー

実施回数：３回、実施人数：１７人

b 就労体験・中間的就労の場の提供

- ・ フードバンク活動への参加

実施回数：１９回、参加者数：３２人

- ・ ガス・水道検針、清掃業務

実施回数：３５回、参加者数：２７人

(イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供

a 無料職業紹介事業

- ・ 「就労困難者」にマッチングした求人開拓（登録企業数 ２８社）

実施回数：随時、紹介数：１１人中採用 ５人

(ウ) 資格取得、技術または技能の習得等職業能力を高める事業

a パソコン検定対策講座

実施回数：７回

参加者数：６４人

b 出張型パソコンセミナー

場所：うるま婦人寮、実施回数：１１回、受講者数：１１人

c パソコンスキルアップセミナー

実施回数：９回、受講者数：５７名

d パソコン検定

実施回数：２回、受講者数：１２名

e セキュリティーセミナー

実施回数：２回、受講者数：２名

(エ) その他就労支援のために必要な事業

a 支援員スキルアップ研修（人材育成）

実施回数：１０回、参加者数：２２１人

- b 働く仲間のゆめ・みらい基金（「働く」につなげる支援）
 支援者数：87 人、就職者数：38 人
 連携機関：県パーソナルサポートセンター南部・ゆいはあと中部・
 名護市社会福祉協議会 他 14 件

※令和 2 年度 労福協就労サポートセンター実績

（グッジョブセンターおきなわ内実施支援・セミナーで対応した数値）

年 月	利用回数 (延べ)	新規人数	リピーター数 (会員番号毎)	就職者数
令和 2 年 4 月	2	2	0	2
令和 2 年 5 月	3	2	1	0
令和 2 年 6 月	34	18	2	0
令和 2 年 7 月	36	14	3	2
令和 2 年 8 月	1	0	1	2
令和 2 年 9 月	32	16	1	5
令和 2 年 10 月	29	12	3	3
令和 2 年 11 月	66	11	12	3
令和 2 年 12 月	49	5	20	4
令和 3 年 1 月	35	8	17	4
令和 3 年 2 月	16	2	7	3
令和 3 年 3 月	15	1	6	6
合 計	318	91	73	34

※セミナー等は、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止又は延期あり。

（５）現有資産の活用

事業団が所有する施設（旧健康増進センター）を民間フィットネス事業者（株式会社フィットネスプロモーション）他 1 件へ賃貸借契約により貸し付けた。

㈱フィットネスプロモーションが運営する「ジスタス浦添」の令和 2 年度施設利用者の延べ人数は約 450,000 人となっており、県民の健康増進に活用された。

賃貸物件の安全性及び収益性を維持するため、施設不要配管撤去工事、高圧受変電設備改修工事、室内プール天井及び鉄骨塗装工事を行なった。

土地については、発電設備設置の土地(152.08 ㎡)を株式会社シントーへ貸し付けた。また、敷地内から湧出する温泉は、動力装置により汲み上げ、温泉施設へ供給を行った。必要供給量の安定供給を行うため、温泉貯湯タンク及び送湯ポンプを新たに設置した。

（６）特定資産活用による拡充事業計画及び周年事業計画の実施状況

ア 拡充事業（平成 30 年度～令和 5 年度）

令和 2 年度は、事業実施 3 年目となるが、予算額 51,509,000 円に対し、決算額は 41,369,466 円で執行率は、80.3%となった。総務部門、健康づくり部門では、概ね計画どおりの実施となったが、臓器移植推進部門の移植医療セミナー及び学会等派遣事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。また、ファミリーハウス部門の施設紹介動画制作事業については、新型コロナ感染防止対策としての部外者の施設立入制限措置に配慮し、令和 4 年度へ繰り越すこととなった。

	事業名	実 施 内 容
総務	経営管理システム導入事業	・業務の効率化及びデータ管理の向上を図るため、給与システムの導入を行なった。
	安全対策施設整備強化事業	・温泉供給施設周辺の敷地について、除草シートを施工し整備した。 ・事務所及び会議室等の環境整備に係る備品等を購入した。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、事務所内にパテーション等を新設した。
健康づくり	健康課題解決型支援事業	・公募提案により、2事業者へ助成支援を行った。 ※詳細は、P6～7 オ（ウ）参照
	健康づくりボランティア養成・活動支援強化事業	・公募提案により、11事業者へ助成支援を行った。 ※詳細は、P7～8 オ（エ）参照
	勤労者健康推進事業	・沖縄県健康長寿課との共同事業として『職場の健康力アップ促進事業』を実施し、県内企業28社への健康づくり支援を行った。 ※詳細は、P4～5 エ（ア）参照
臓器移植推進	臓器移植普及啓発イベント事業	・県内在住の300名を対象に、臓器移植に関する意識調査を行った。 ※詳細は、P10～11 ウ（エ）参照
	テレビ番組活用型事業	・著名アーティストがプロデュースした音源を活用した臓器移植普及啓発のためのプロモーション映像およびポスターを制作した。

事業拡充計画資産(特定資産)の活用による事業拡充計画表

※平成30年度～令和2年度については、実績額を記載

【拡充事業】予算額2.0億円		事業予算(概算)										(円)
実施部門	事業名1(中科目)	事業名2(小科目)	事業内容	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	小計	部門別合計	
総務	経営業務効率化推進事業	①経営管理システム導入事業	・財務会計、勤怠管理及び給与システム等の導入	予算 (実績)	2,593,360	1,298,000		1,055,000		4,946,360	30,947,462	
			変更前		2,593,360	2,562,000		500,000		5,655,360		
		②安全対策施設整備強化事業	・調理の設置 ・安全性の高いネットワーク及びサーバーシステム構築 ・個人情報保護管理システム及び監視カメラの設置 ・空調設備の設置、シェルフ、備品等の購入	予算 (実績)	23,533,746	1,467,356	500,000	500,000		26,001,102	31,200,000	
			変更前	23,533,746	1,797,000		213,894		25,544,640			
健康づくり	健康づくり強化推進事業	①団体等連携型事業	・連携先(行政関係機関、研究教育機関、産能団体等)	予算 (実績)	9,900,000	5,842,710	6,000,000	6,000,000	1,000,000	28,742,710	89,405,561	
			変更前	9,900,000	8,000,000	8,000,000		6,618,923	40,518,923			
		②健康課題解決型支援事業	・公募提案により支援事業を運営 ・官民連携型プロジェクトへの助成支援	予算 (実績)	16,862,679	19,193,174	10,000,000			46,055,853	115,000,000	
			変更前	16,862,679	20,000,000	20,000,000			56,862,679			
施設整備推進	施設整備普及促進人材育成事業	③勤労者健康推進事業	・健康経営普及促進プロジェクト推進事業 ・健康経営企業連携モデル実証事業(派遣型)	予算 (実績)	2,618,398	3,988,600	4,000,000	4,000,000		14,606,998	13,582,619	
			変更前	2,618,398	5,000,000	5,000,000			17,618,398			
		①研修施設等(計10名)の派遣員負担 平成31年～35年まで各年2名 ②学会等派遣事業	・派遣人数(各年4名程度) ・派遣人数(各年4名程度)	予算 (実績)	993,189	1,570,000	0	1,570,000	1,570,000	4,133,189	18,000,000	
			変更前	993,189	1,570,000	1,570,000	1,570,000	1,570,000	7,273,189			
ファミリーハウス	ファミリーハウス利用促進向上事業	①施設整備普及啓発イベント事業	・グリーンリボン普及啓発イベント実施	予算 (実績)	576,830	640,000	640,000	640,000	640,000	2,496,830	7,000,000	
			変更前	576,830	640,000	640,000	640,000	640,000	3,136,830			
		②テレビ番組組の放映(改正顕彰施設法施行10周年記念)	・グリーンリボン普及啓発イベント実施	予算 (実績)	952,600	1,000,000	0	1,000,000	0	1,952,600	18,000,000	
			変更前	952,600	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,589,981	4,589,981			
ファミリーハウス	ファミリーハウス利用促進向上事業	①建築設備改修整備事業	・空調、照明、調理設備の改修及び省エネ化 ・宿泊者向けWi-Fi等の設置	予算 (実績)	1,838,800	1,000,000	2,000,000	1,028,280		4,867,080	7,000,000	
			変更前	1,838,800	1,000,000	1,000,000	1,028,280		4,867,080			
		②看板設置事業	・施設案内用大型看板の設置	予算 (実績)			0			0	7,000,000	
			変更前						0			
ファミリーハウス	ファミリーハウス利用促進向上事業	③宿泊予約システム構築事業	・宿泊予約及び会計システムの導入	予算 (実績)	1,132,920					1,132,920	7,000,000	
			変更前	1,132,920					1,132,920			
		④施設紹介動画制作事業	・動画制作委託料	予算 (実績)		0		1,000,000		1,000,000	7,000,000	
			変更前		0		1,000,000		1,000,000			
人件費	人件費	①嘱託職員人件費	・嘱託職員2名(240,000円×2名×60ヶ月)	予算 (実績)	4,798,220	5,627,026	6,000,000	3,000,000	3,000,000	22,425,246	28,800,000	
			変更前	4,798,220	5,940,000	6,000,000	6,000,000	6,061,780	28,800,000			
		予算(実績)合計			9,900,000	54,948,142	41,369,466	31,140,000	19,793,280	6,210,000	163,360,888	200,000,000
		変更前予算合計			9,900,000	54,948,142	51,509,000	43,210,000	23,952,174	16,480,684	200,000,000	

(7) 資金運用

低金利が継続する中、償還された定期預金や債券については、リスク管理を行いながら、社債及び為替や株価に連動する債券の購入を行った。令和2年度前半は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け運用環境が悪化、また令和3年に入ると急激な株価の上昇や景気の不透明さが続いたが、令和2年度の運用収支実績は、予算額に対して119%となり約2,200万円の収入超過となった。その主な要因としては、満期を迎えた定期預金を有価証券へと切り替えたことと、豪ドルに連動する債券が想定為替より円安傾向となったことで金利が上昇し収入増に繋がった。全体の実績では、前年度の利回りより0.24%（約1,880万円）増加した。

ア 損益ベース(正味財産増減計算書から)

運用の種類	令和2年度				令和元年度				対前年度増△減	
	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	運用益 (千円)
銀行 預金	737,779	9.73%	824	0.11%	1,720,000	22.70%	1,623	0.09%	△982,221	△799
有価 証券	6,842,221	90.27%	134,770	1.96%	5,860,000	77.30%	115,149	1.96%	982,221	19,621
計	7,580,000	100%	135,594	1.78%	7,580,000	100%	116,772	1.54%	0	18,822

※上記の令和2年度有価証券の運用額には、早期償還となった有価証券を振替えて普通預金で保有する金額を含む。

3 業務経過

年 月 日	主 要 事 項
令和2年4月1日	令和2年度 第1回臨時評議員会（みなし決議）
〃	令和2年度 第1回理事会（みなし決議）
〃	臓器移植連絡調整者設置事業受託（沖縄県）
〃	臓器移植普及啓発活動団体助成事業応募開始
〃	臓器移植普及啓発（意思表示啓発）バス車内 CM 放送開始（R3.3.31迄）
15日	ボランティア養成・活動支援助成応募受付開始（6/1迄）／二次募集（7/6～8/5）
16日	市町村及び団体助成事業応募受付開始（～6/1迄／二次募集（6/17～7/17）
〃	課題解決型支援（助成）応募受付開始（応募期間：7/5迄）
5月25日	臓器移植に関する意識調査（3日間：離島含む県全域・男女300人）
6月1日	令和元年度事業報告及び決算、監事による監査実施
6月10日	令和2年度 第2回理事会（みなし決議）
25日	令和2年度 定時評議員会（みなし決議）
7月1日	職場の健康力アップ促進事業開始（県共同事業：R3.3/31迄）
13日	令和2年度 第3回理事会（みなし決議）
20日	Instagram キャンペーン アート作品応募受付開始（～8/31迄）
28日	第1回臓器移植推進委員会開催（事業団会議室：オンライン参加含む）
30日	令和2年度 第2回臨時評議員会（みなし決議）

8月1日	健康情報誌「KENKO ISLAND」の発行（8・12・3月 3回／年：各25,000部）
9月1日	㈱フィットネスプロモーションとの定期建物賃貸借契約及び温泉供給契約の締結 （契約期間：令和2年9月1日から令和11年3月31日まで）
〃	臓器提供意思表示啓発ラジオCM（3編）放送開始（～11.30迄）
30日	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立図書館：～10/25迄）
10月7日	スマートライフセミナー開催（中部）沖縄県市町村職員共済組合
9日	〃 〃 （那覇） 〃
27日	第2回臓器移植推進委員会開催（事業団会議室：オンライン参加含む）
11月1日	㈱シントーとの事業用定期借地権設定契約及び土地使用賃貸借契約の締結 （契約期間：令和2年11月1日から令和13年3月31日まで）
6日	講師派遣（健康運動指導士）石嶺中学校PTA研修会
〃	沖縄グリーンリボンアート展開催（県立中部病院：～11/27迄）
11日	食育活動調理実習の開催（名護市外10市町村にて20回開催・R3.2.28迄）
12月23日	令和2年度 第4回理事会
令和3年1月9日	食育リーダースキルアップ研修会（那覇市）
10日	〃 〃 （うるま市）
21日	県民食育講演会（オンライン沖縄特別版）の実施（～2/21迄・32日間）
31日	健康づくりライブトーク（オンライン特別版）の開催（1回目配信）
2月14日	健康づくりライブトーク（オンライン特別版）の開催（2回目配信）
3月2日	沖縄県移植情報担当者会議（那覇市内貸会議室よりZOOM配信）
19日	令和2年度 第5回理事会
22日	第3回臓器移植推進委員会開催（事業団会議室：オンライン参加含む）

4 評議員会決議事項

（1）令和2年度第1回臨時評議員会 みなし決議（令和2年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

（2）令和2年度定時評議員会 みなし決議（令和2年6月25日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和2年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告及び決算	議決

（3）令和2年度第2回臨時評議員会 みなし決議（令和2年7月30日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団評議員及び理事の辞任に伴う補欠選任について	議決

5 理事会決議事項

(1) 令和2年度第1回理事会 みなし決議（令和2年4月1日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事の選定について	議決
第 2 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団専務理事に事務局長の職務を委嘱する件	議決

(2) 令和2年度第2回理事会 みなし決議（令和2年6月10日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	令和元年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告	議決
第 2 号	令和元年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団決算	議決
第 3 号	令和2年度定時評議員会招集の決定について	議決

(3) 令和2年度第3回理事会 みなし決議（令和2年7月13日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	(株)フィットネスプロモーションとの定期建物賃貸借契約の締結について	議決
第 2 号	令和2年度第2回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

(4) 令和2年度第4回理事会 みなし決議（令和2年12月23日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団組織規程の一部改正について	議決

(5) 令和2年度第5回理事会 （令和3年3月19日）

議案番号	議 案	結果
第 1 号	「事業拡充計画資産」及び「周年事業積立資産」の取崩しについて	議決
第 2 号	「減価償却引当資産」の取崩しについて	議決
第 3 号	令和3年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業計画	議決
第 4 号	令和3年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団収支予算	議決
第 5 号	沖縄県保健医療福祉事業団決裁規程の改正について	議決
第 6 号	令和3年度第1回臨時評議員会の招集並びに目的である事項等について	議決

6 評議員に関する事項

(1) 現 況（令和3年3月31日）

氏 名	任 期	備 考
石 原 朝 子	令和2年7月30日 令和3年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生副委員長

宮 里 善 次	平成29年 6 月20日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県医師会副会長
與 儀 利 枝	〃 〃	沖縄県婦人連合会副会長
新 垣 弘 美	〃 〃	沖縄県栄養士会理事
糸 数 公	〃 〃	沖縄県保健医療部医療技監兼保健衛生統括監
砂 川 安 弘	令和元年12月18日 令和 3 年度定時評議員会	連合沖縄事務局長
田 端 一 雄	令和 2 年 7 月30日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県経営者協会常務理事

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和 2 年 6 月 24 日	評議員	西 銘 純 恵	辞 任	新任 沖縄県議会文教厚生副委員長 新任 沖縄県経営者協会常務理事
令和 2 年 6 月 29 日	評議員	山 城 勝	辞 任	
令和 2 年 7 月 30 日	評議員	石 原 朝 子	選 任	
令和 2 年 7 月 30 日	評議員	田 端 一 雄	選 任	

7 役員等に関する事項

(1) 役 員

ア 現 況 (令和 3 年 3 月 31 日)

職 名	氏 名	任 期	備 考
理 事 長	安 里 哲 好	令和元年 6 月24日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県医師会会長
専務理事	砂 川 靖	令和 2 年 4 月 1 日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県保健医療福祉事業団
理 事	末 松 文 信	令和 2 年 7 月30日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県議会文教厚生委員長
理 事	東 盛 政 行	令和元年12月18日 令和 3 年度定時評議員会	連合沖縄会長
理 事	金 城 克 也	令和元年 6 月24日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県経営者協会会長
理 事	與那覇 信子	令和 2 年 7 月30日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県婦人連合会会長
理 事	村 濱 千賀子	令和元年 6 月24日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県栄養士会会長
理 事	大 城 玲 子	令和 2 年 4 月 1 日 令和 3 年度定時評議員会	沖縄県保健医療部部長

理 事	友 利 公 子	令和2年4月1日 令和3年度定時評議員会	沖縄県商工労働部産業雇用統括監
監 事	波 平 正	令和元年6月24日 令和3年度定時評議員会	税理士
監 事	有 銘 寛 之	〃 〃	公認会計士

イ 異動状況

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和2年4月1日	理 事	砂 川 靖	選 任	新任 沖縄県保健医療福祉事業団専務理事
	理 事	大 城 玲 子	選 任	新任 沖縄県保健医療部部長
	理 事	友 利 公 子	選 任	新任 沖縄県商工労働部産業雇用統括監
令和2年6月24日	理 事	狩 俣 信 子	辞 任	
令和2年6月30日	理 事	本 永 静 江	辞 任	
令和2年7月30日	理 事	末 松 文 信	選 任	新任 沖縄県議会文教厚生委員長
	理 事	與那覇 信子	選 任	新任 沖縄県婦人連合会会長
令和3年3月31日	理 事	砂 川 靖	辞 任	

(2) 職 員

ア 現 況 (令和3年3月31日)

職 種	人 数	備 考
課 長	1 人	副参事兼務
副 参 事	1 ※	
主 幹	1	
主 査	3	再任用1名、臓器移植コーディネーター1名含む
主 任	3	臓器移植コーディネーター1名含む
(嘱託員)		
運動指導員	1	健康運動指導士
事 務	4	
合 計	13 人(5)	() は嘱託員で内数、 ※は兼務

イ 異動状況 (職員)

発 令 日	職 名	氏 名	異動別	備 考
令和2年9月30日	主 任	高江洲 義伸	退 職	